

"FGO" Unofficial Fan book
[Gudao x Mo-sanx2]
Presented by Peθ

WARNING:
R-18
For Adults Only



WARNING: For Over 18 ONLY!

- H o n e e y s -



——モ
モルガン様……ッ

よろしいのですか
そのように……
声を上げてはッ

隣室の
ご息女に……
聞こえ……

母上は
いつもは

男に愛を囁き
性の享樂に
耽つていた

……ああ

アレは……
私が製造した
人工生命に
過ぎません……

気に留める
必要など
ないわ……

子^{オレ}へは
一切の愛を
向けることなく



隠れて
やがった

やった
いい女じゃねえか



貴様らも
我らが
大志のため
の
謂わば
必要物資
だ
悪く
思うな
まよ



……ふう
うちの将は
人一倍粗野なくせに
こーいのは
お嫌いそうだな



腐つても
お高くとまった
円卓の騎士……

いやあんな体格で
声も随分
若々しい

……もしかしたら
アッチの経験も
まだないような
お歳なのかもな

シッ
聞こえるぞ

何をバカな…

…女と言えは聞いたことあるか
王が…
女だとかいう噂

ううむ
大いにありではないか？

…いやしかし
もし女とすれば
あの清廉なお顔立ち…
輝く金髪に
華奢な体躯…

お？
かき
かき


おおい
貴様ら！
今は敵とはいえ
仮にも王に
何という暴言…！

そうですなれば…
フフフ
ますます
楽しみですな

王を捕縛すれば
「確かめる」ことも
できるだろうさ
女のくせに王として立ち
民を欺いていた咎を
負わせてやるんだ
もはや正義は
完全に
我々の側にある

チツ
煩いのが来たぞ
退散退散

戦場の男たちは
女と見るや
欲望の捌け口として
下卑た目を向ける
…それは
かの王相手ですら
例外ではなく



物のように
愛でられるか弄ばれる
待遇しか与えられず

王として
立つ資格など
以ての外

オレが見てきた
「女を女として扱う」とは
つまるところ
そういうことだ

仮にも我が戦力に
与している彼らを
あの場で殺せなかつたか
どんなに苦痛だつたか

——性の欲望とは
何て汚らわしいのだろう

ブリテンの牙城を
突き崩すに至つた切欠も
妃たちが欲望に囚われたこと

こんなもののため
王の正妃と臣下
王を裏切つたが

オレが
そのようなものに
囚われることは
生涯あるまい

皮肉にも
幸いなことに
オレの寿命には

最初から
王以外のものに
目を向ける時間など
ないのだから

— そう
思ってた
いた

こ……
これは……?

だ
は
つ
ず
た

マスターも
見てんだろ

刻のオレ
コイツと
リンクした
何て言うか……

……
やらしく
感じの夢

あれ
絶対

コイツが
ムラムラしてる
せいだから

ええ……
……あの内容の
夢で……?

うん
オレ自身が
言うんだから
間違いねえ



……オレには
まだよく
わからない

わかったよ



……し
仕方ねえ……だろ

このままじゃ
実害があるなら……

オレより先に
召喚されていた
そのバカが
言うには

未だ忌々しい
この感情こそが
そういった類の
ものらしい



……無理しないで
モーさん

また俺のこと
愛してくれたら
嬉しいな



……ほら
お前も
自分から
脱いでみ

な……



やっぱな
素直になるには
受け身なだけじゃなく
積極的に行く意識が
必要だと思っただよな

……



見て
もらっただよ
恥ずかしいけど……
気持ちいい……って
なるんだ



お おおう…
二人一緒だと…
迫力が…



へへっ
もう準備万端
みてーだな？



今日は
オレ(たち)が
やってやるから

マスターは
大人しく
してろよ

うん



そう
ビビるなよ
こうやって
刺激してやると
ヨガるのが
楽しいんだぜ

ハア!?

……びび
びびって
ねーよ!

ビビってないなら
これから
オレと一緒に
するんだぞー!

先輩ツラ
するんじゃ
ねえ!
こんなことで!

……
両方とも
可愛いなあ

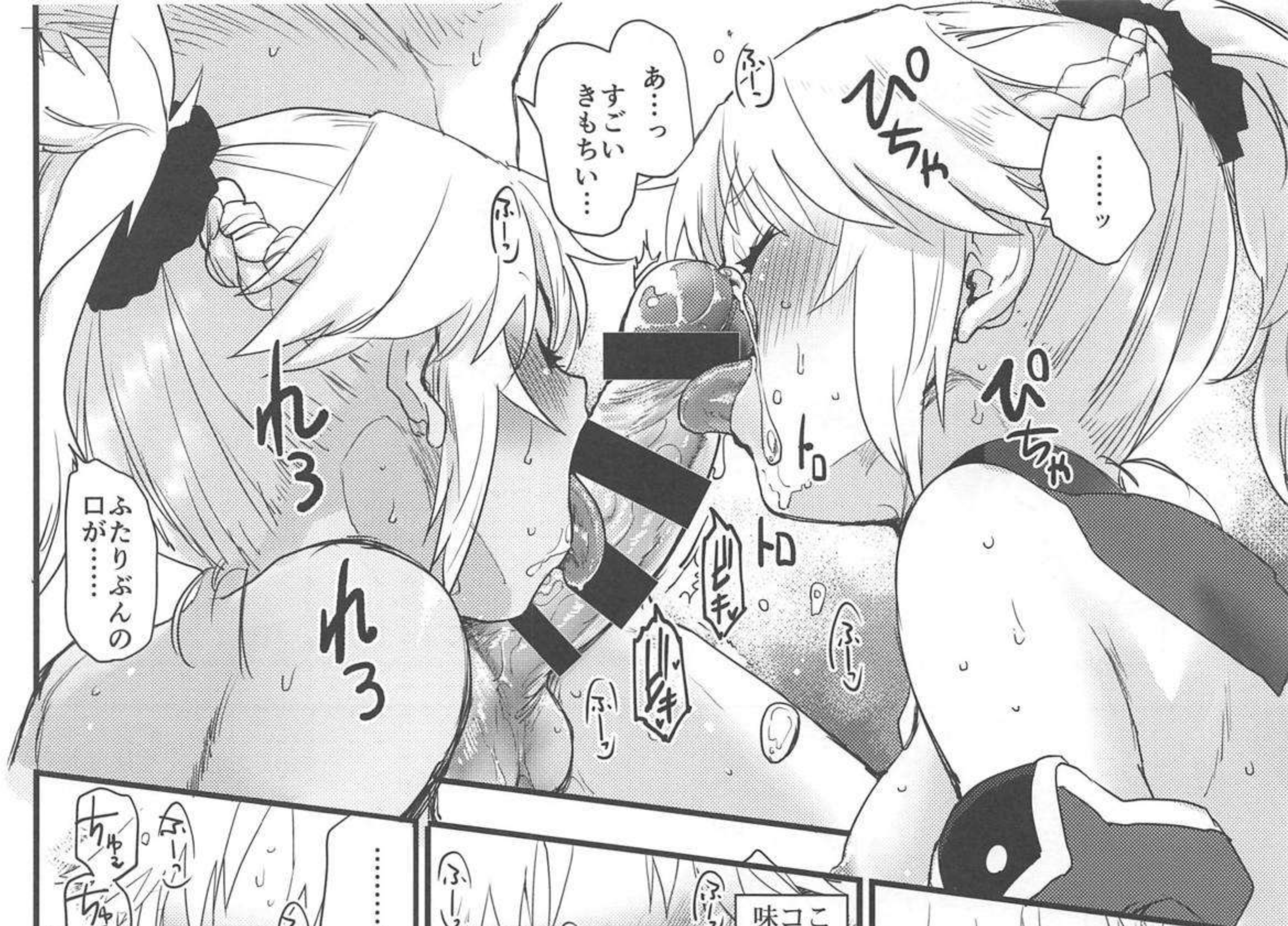
手始めに
口で……
気持ちよくして
やるからな……

口でエ!?
小便出す
とこだろ!?

ん……
オレも……
上達したとこ
見へてやる
からな……

マジかよ
マジかよ
マジかよ……ッ!

……ッ
マジかよ……



…ほら
二人なら

こういうことも…
できるぜ…♡

デカいだけのメロンに
目移りなんて
二度とさせねーん
だから…な…!!

そそれは…
誤解だつて…
…うッ

すご…ッ
柔らかくて
気持ちいい…ッ

あ〜
他ならぬ
モーさんの
おっぱいで
パイズリ
できるなんて…

お俺は
もう…ッ

うわ うわ
うわ うわ

胸にコイツの
熱と鼓動が…
直に伝わる…
きやがる…ッ





!!!

あぁ 勿体ねえ



なに...
なに...
しやが...ッ



...う...え
くせえ...



ああ
くせえし
不味いし



ほら
貴重な
マスターの
魔力だぞ

オマエも
飲んどけよ...♡



前と一緒だよ
俺がモイさんに
抱いて欲しいんだ
愛して欲しいんだ

…大丈夫

……



無理しないで
モイさんのペースで
入れられる体位が
いいかな？

とす。

ほら



なにオレは
それを
知りながら…

ドクン
ドクン
ドクン



欺瞞だ

……わ
わかってる

そんなことは
当たり前に
わかってる



……コイツは
気を遣ってこそいるが

オレのことを
この上なく
「女」を見る目で
見ている…



自分の意思で
これを
受け入れて



入っただけで
入っただけで
こんなッ

ん……ッ
モーさん……
膣内狭い……ッ

きもちい……ッ

か
こじ
叩き
みて
えな
な…
ツ



……うわ
すっげえ…
根本まで…
ずっぽり…

ママジで
こんな小さい穴に
ねじ込めんだ…

あ
あっ…

み見るなあ
バカ野郎オ…ツ♡

ちゅぽっ

ちゅぽっ

あんなに嫌悪していたはずなのに「汚らわしい欲求」なのいい



おオレがヤツてる時も
こんなになつてるの…かな…♡

ばっ
マジでやめッ

体が抗えない

マジやめろばか
ブツ殺すぞばか!!

…畜生
畜生ッ

畜生ッ…♡

「理性」が「衝動」に塗り潰される

そうだった
こうなつて
しまふと

モーさん
…夢のこと…
忘れられそう？

…わ
わかんねえっ！

少しでも
すつきり
できそう…っ？

わかん…ねえよッ
そんなのお…ッ！

オレは
自分を
制御できない

じゃあ…
俺と…
愛し合つて

気持ちイイ？

幸せに思つて
くれてる？

「気持ちイイ」

「気持ちイイ」
「気持ちイイ」

…そ…
んな…

ばか…ッ

わかん…ねえつて
言つてる…
だろお…ッ…！

「わけがわから
ない
快感と多幸感で
気が狂いそうだ」



同じ麻薬の
虜になっちまって
制御できねえんだ...

...へっ
ざまアねえ
所詮オレたちは
同じ...なんだな



んなア

サモさんも
気持ちイイ時
同じ顔してるよ

大丈夫



ガッ
ガッ
ガッ

ガッ
ガッ
ガッ

ガッ
ガッ
ガッ

ほーら

サモさんも
気持ちよく
なつてごらんよ



ばば
かばかっ
オレには
ねーかわるじや

やだあッ♡

だって
サモさんとは
もう1年以上
付き合ってるし...

少しくらい
みたいよね?
...

そこから先は
よく覚えていない

ただひとつ
言えることは

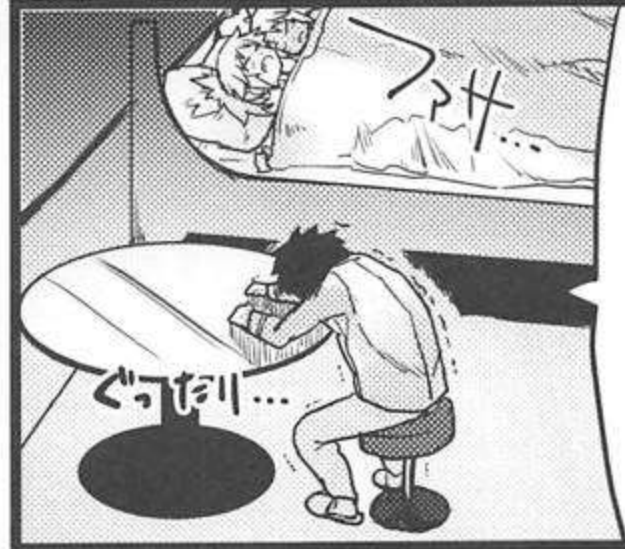
きっと仔細を
思い出したら
死にたくなるような
夜だった

残っている記憶は
熱病の時のよう
もやのかかった
悦楽の残滓だけ

あの夜のオレは
本当にオレだったの
だろうか



……ベッド
占領されちゃった



しょうがない
ここで二人の
寝顔見ながら
休も……



……おやすみ
モーさんたち
いい夢を

その夜の夢は

■■■■
……ああ……

少しもと
違っていて――

……かわいい……♡
早く大きくして
あげないと……

■ ■ ■
任せて欲しい

私とて
殿方の悦ばせ方は
心得ています

……ん……
美味しい……♡

! ?

私は貴方を
愛している

■ ■ ■
♡

■ ■ ■
……



あの暑苦しい白モジャ一本残さず
箸り取ってやる

……っていうか
考えるまでもなく
マーリンの悪戯に
決まってるじゃねえか!!

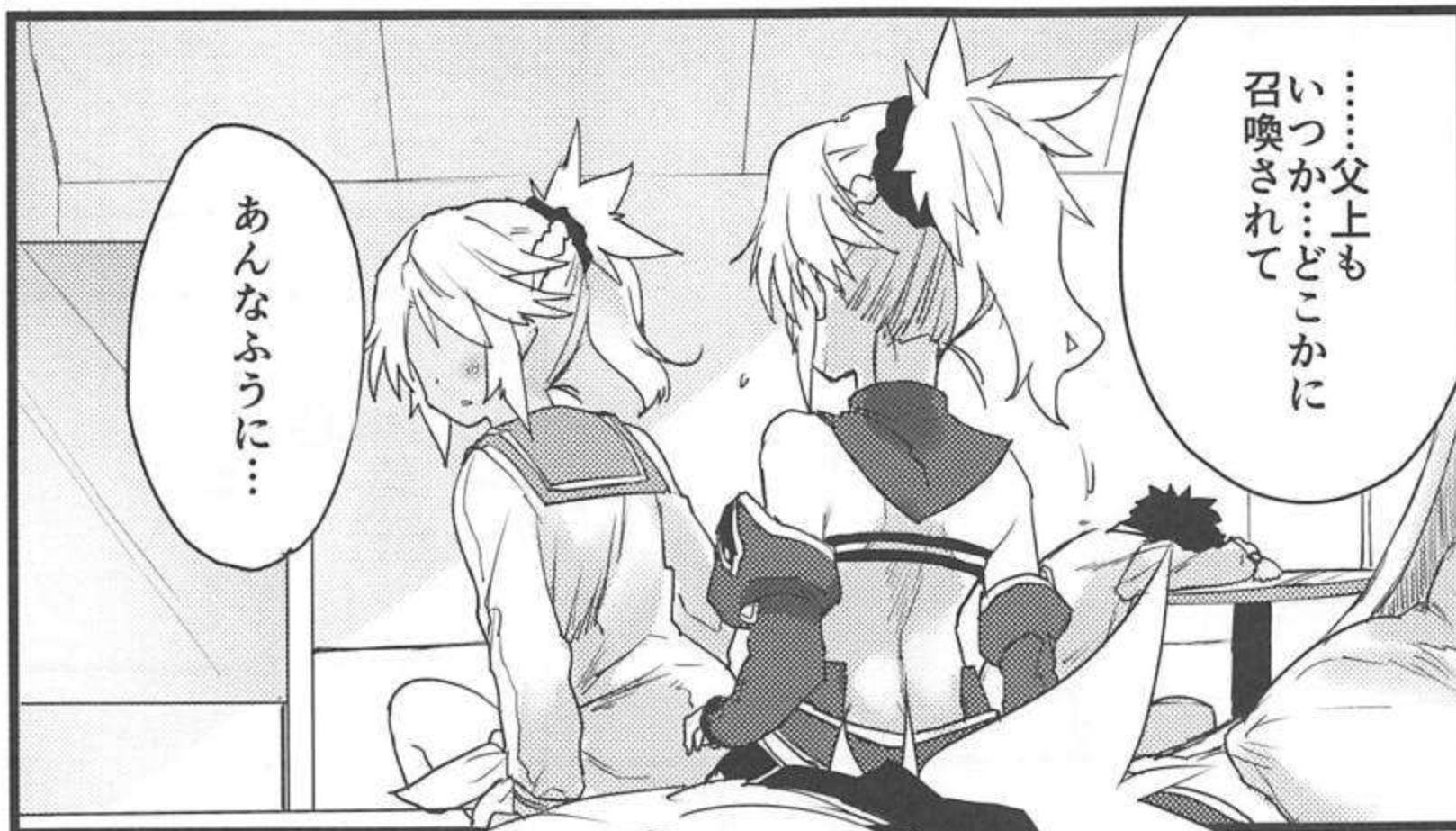
あんの
花咲かクソ野郎
父上を辱めやがって



なななななな
なんだ
今の夢エ!?

オマエ
オレも
見たよな!?

なんだアレ
なんだアレ!?



……父上も
いつか……どこかに
召喚されて

あんなふう……



……!
……なあ
でもさ



違う時代の男と
出会って……恋して……

単なる男と女みたいに
愛し合うなんてこと……

本当に……
あったんだろうか

おず……



……いや
あつたかも……な

だって……
こんなオレ^{オマエ}にも
あつたくらい
なんだから



っかなそ
そんなはず
ねえだろ！

父上だぜ!!
あの父上に……



は……



……フツ

……はは



どどうい
意味だよ
そりゃ!!

あはははは



ははははっ


……そうだな



確かに
そうかもしれない――

生ける者誰もが
本能として
追い求めるといふ

麻薬のように甘美で
どこまでも汚らしく
浅ましく利己的で



……そして
何よりも普遍的な
この幸福

これを
あの人も
英霊としての
第二の生の中で

初めて
得たのだと
したら……

それは……きっと――

Honeys - AFTER -



はい!!
マリーリンお兄さん
だよ!!

まさかマスターが
恋のお相手に選んだのが
モードレッドとはねえ

理解しがたい
面倒な選択肢を
掴むものだよ
まったく!

同じ顔なら
アルトリアのほうが
絶対よくないかい?
そういう問題じゃない?



あの夢?

うん 彼女も少しは
恋に積極的になれるよう
ちよつとおせっかいを
してあげただけさ!

あのアルトリアの
最も美しい姿を見て
学ぶことは数多く
あるはずだ

父の背中を
見て育つって
奴かな?

時期によっては
致死性の劇薬にも
なり得ただろうが

今の彼女なら
きつと良い感じに
仕上がったろう!

ふふ ちよつと
サービスしすぎて
しまったかもだ
マスターのためでも
あるからね

< Honeys > おくづけ

- 発行日 : 2018年 12月 31日
- 印刷所 : 有限会社 スズトウシャドウ印刷 様
- 発行者 : Peθ
- ◇ 代表 もず
- ◇ E-Mail l.bucephalus@gmail.com
- ◇ Pixiv id=11342
- ◇ Twitter @L_bucephalus / @b_l_a_n_c

△18歳未満の方の購入・閲覧を堅く禁じます。



WARNING:
R-18
For Adults Only

